

2023年度 第23回

JIA 25年賞

人々が育った環境、学んだ環境、暮らした環境、働いた環境、友人と楽しい時間を過ごした環境、そのような環境を形成してきたのが建築である。人々の人格形成に少なからず影響を与え、人と人を繋ぎ、社会を構成する背景にあるのが建築であり、人々の記憶を繋ぎ、次世代に引き継ぐことのできる社会的な資産であり、文化的な資産でもある。JIAでは「25年以上の長きに渡り、建築の存在価値を発揮し、美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」を登録し顕彰してきた。年月を経過しても尚、地域に貢献し地域の人々に愛されている建築を認定し表彰することで、建築が地域社会の中で果たす役割や文化的な価値を広く市民に認識していただく機会になれば幸いである。

公益社団法人日本建築家協会 会長 佐藤尚巳

受付開始

2023年6月12日(月)

提出期日

2023年8月14日(月)

お問い合わせ・提出先

公益社団法人 日本建築家協会本部

事務局「JIA25年建築選」担当

25year-awd@jia.or.jp

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 4F

TEL 03-3408-7125

FAX 03-3408-7129



The Japan Institute of Architects
JIA-kan, 2-3-18 Jingumae, Shibuya-ku,
Tokyo 150-0001 Japan
公益社団法人 日本建築家協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館
Tel.03-3408-7125 Fax.03-3408-7129

右の写真：第22回JIA25年賞受賞作品
(上から)高知県立坂本龍馬記念館 / 霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)
本の森 厚岸情報館 / 金沢市民芸術村 / 高知県立中芸高校格技場



2023年度「JIA25年建築選」及び第23回「JIA25年賞」 応募要領

本賞はJIAが文化としての建築のありようを社会に根付くという視座から問い直す試みであり、また同時に、市民に対して文化としての建築の意義を訴える試みでもあります

1. 目的

「25年以上の長きにわたり、建築の存在価値を發揮し、美しく使い続けられ、地域社会に貢献してきた建築」を登録・顕彰します。建築が未来に向けて生き続けていくために、多様化する社会の中で建築が果たすべき役割を確認するとともに、次世代につながる建築のあり方を提示することが目的です。竣工時から現在までの時間軸の中で、建築がどのように熟成してきたか、これら「時間の重ね方」の意義を本賞では期待をしています。

2. 応募資格

当該建築の建築主、所有者、維持管理者または設計者が応募できます。応募主体が設計者・維持管理者の場合、建築主の承諾が必要です。応募は無料です。「JIA25年建築選」に選定された建築は自動的にJIA25年賞候補として審査対象となります。「JIA25年賞」単独での募集はありません。

3. 対象となる建築

建築は日本国内に実在し現在も使用され、2023年9月末日現在で竣工後25年以上のものを対象とし、50年までを目処とします。また、建物用途の変更の有無は問いません。

4. 応募について

(1) 受付期間

2023年6月12日(月)～8月14日(月)まで

(送付でのみ受け付けています。締切日消印または締切日荷物引受印有効)

(2) 提出書類

(A) 応募書式(A) A4判1枚

(B) 応募書式(B) A3判1枚

25年賞の趣旨に対してアピールできる竣工時写真及び現況写真を各1枚ずつレイアウトして下さい。

(C) その他

上記以外に作品の現況がわかる写真を数枚、当該建築物の掲載雑誌、パンフレット等の資料。

(PDFデータ、もしくはカラーコピーをA4版クリアファイル1冊にまとめたもの3部)

応募書式(A)(B)は <http://www.jia.or.jp> からダウンロード出来ます。

なお、審査過程で図面、画像等の追加資料が必要な場合には、提出をお願いすることがあります

写真はいずれも広報用に公開することがあるため、著作権等はクリアしてから撮影者クレジットを付記して下さい。

提出書類は原則として当会が責任をもって破棄し返却しません。

また「JIA25年建築選」「JIA25年賞」に選定された作品は当会に提出書類一式を保存します。

(3) 提出方法・提出先

応募書式(A)(B)(C)のPDF形式のデータをCD-ROMに入れ、下記まで郵送あるいは宅配便にて提出下さい。提出書類(C)をクリアファイルで提出する場合は、(A)(B)のみをCD-ROM(1枚)に入れ、ファイル(3部)と共に郵送あるいは宅配便にてご提出下さい。

公益社団法人 日本建築家協会本部 事務局「JIA25年建築選」担当
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F TEL 03-3408-7125
FAX 03-3408-7129

5. 審査のクライテリア(評価軸)

応募建築の該当するクライテリアを以下から3つ以上選んでその内容について記述してください。

- ① 建築にこめられた建築家の思想が現在も尊重されていること。
- ② 人々の記憶に寄与する建築であること。
- ③ 建築の価値を社会に広めてきたこと。
- ④ 設計された時代を象徴するような技術を保持していること。
- ⑤ 建築が美しく保たれていること。
- ⑥ 過去の保全、改修の記録が残っていること。
- ⑦ 未来に向けた長期的な保全計画があること。
- ⑧ 地域社会や周辺環境に貢献していること。
- ⑨ 所有者、設計者、施工者、管理者の連携が現在もよく取れていること

6. 審査方法等

(1)「JIA25年建築選」は、JIA各支部にて登録の是非を審査します。

(2)「JIA25年建築選」の選定数には上限を設けません。

(3)「JIA25年賞」は、各支部にて選定された「JIA25年建築選」を審査対象とし、JIA本部審査委員会にて審査します。

7. 審査委員

(1)「JIA25年建築選」の審査委員は、JIA各支部にて選定された委員とします。

(2)「JIA25年賞」の審査委員会は、以下の通り建築家4名、有識者2名の計6名で構成されます。

佐藤 尚巳 (JIA会長・審査委員長/佐藤尚巳建築研究所)

広谷 純弘 (JIA表彰委員長/アーキヴィジョン広谷スタジオ)

倉方 俊輔 (大阪公立大学)

高橋 寛 (ワークステーション)

橋本 純 (ハシモトオフィス)

村上 晶子 (明星大学・村上晶子アトリエ&パートナーズ)

8. 発表及び表彰等

(1)12月から1月にかけてプレス発表をおこない、「JIA25年賞」は春頃表彰式典にて表彰状を授与します。

(2)「JIA25年建築選」「JIA25年賞」に選定された建築には、それぞれ通し番号が付与され、HP、機関誌、建築年鑑に登録されます。登録にあたり登録手数料1万5千円(税別)を納付いただきます。

(3)登録・受賞建築の関係者・関係組織を対象に、記念品として「JIA25年建築選」陶板レリーフ5万円(税別)、「JIA25年賞」陶板レリーフ7万円(税別)を販売します。